

延岡小学校 令和7年度 学校評価

(4段階評価 4:期待以上 3:期待通り 2:A:3.4以上(期待以上に近い、または期待通りの上位) B:2.9-3.3(期待通りの範囲) C:2.8以下(期待を下回る、改善が必要))

評価項目	学校自己評価コメント	自己評価			観点別総合	運営協議会評価	総合	運営協議会コメント
		児童	教師	保護者				
学校環境	学校は、みんなが元気に、いきいきと活動している。	3.5	3	3.6	3.4	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 限られた学校環境の中で、地域との連携や学童スポーツの拠点としてなど開かれた学校作りが進んでいると感じている。 毎日見ている訳ではないが、会う子ども達が元気に挨拶してくれる。その声や姿から学校が楽しいのが伝わってくる。 朝の交通指導をするようになり、早々20年以上になりました。どの児童も凜冽とあいさつをしてくれるのでこちらが元気を貰いやすい限りです。しかし名前がわからずとも残念です。私たちの子育ての時代は親子会があり、いろんな行事がありましたので、地区の児童の名前も親の名前も全部知っており、親しみも増してましたが、今は全くわかりません。これも時の流れでしょうか？ 子どもが親を殺す事件の多い事に小さい時からの道徳教育の必要性を切に思います。
	学校は学びの場が整い、ふるまいが、気持ちよい。	3.3	3	3.4	3.2	3.2		
	学校は、地域の人とつながり、協力しながら活動できている。	3.2	3	3.3	3.2	3.2		
日指す児童環境	子どもたちは、周りの人や出来事に目を向け、よさや変化に気付いている。	3.1	3	3.2	3.1	3.1	3.1	<ul style="list-style-type: none"> 児童はそれぞれの個性に応じて成長していると理解していますが、個性の多様化に伴い、学習や行動内容の深淺の差が大きいことも感じられる。 朝の立ち番をしてよく見かけることは、児童が膝を擦りむいた時とか、他の児童がかけより声を掛けて励ましています。 登校時に遅い児童がいると、声を掛ける児童がおり、とても頼もしいです。 ブログ等によって子どもたちの活動の様子がよくわかった。
	子どもたちは、自分の考えをもち、課題に向かって考えとができています。	3.3	2.7	3.3	3.1	3.1		
	子どもたちは、自分や友達の幸せを考えて行動し、みんなを笑顔にしている。	3.3	2.6	3.3	3.1	3.1		
日指す教職員環境	教職員は、児童・保護者・地域への思いや立場を尊重し、丁寧に関わっている。	3.4	2.6	3.5	3.2	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 孫の宿題に目を通してありますが、非常に熱心なすみからすみまで目を通してコメントしてくれています。先生方の取組がすごく感じられます。 先生方の指導がきめ細やかで大変ありがたい。 先生方には感謝しかありません。本当に沢山の仕事量の中、クラスの数も多く大変だと思います。 通信等でのお知らせをはじめ様々な対応ありがとうございます。 一部の教職員から地域、関係機関に対して非協力的な態度が見られた。
	教職員は、教育の質を高めるために、学び続ける姿勢をもって取り組んでいる。	3.5	3.1	3.5	3.4	3.4		
	教職員は、教職員としての自覚をもち、誠実に行動し、信頼されている。	3.7	3	3.5	3.4	3.4		
日指す保護者環境	保護者は、家庭で笑顔を大切にし、子どもの成長を支えている。	3.8	3.1	3.4	3.4	3.4	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 餅つき会・野菜園・ばんぼ踊り・運動会の取組で保護者の参加が多く見られ子ども達とのつながりが強くなると思っています。 ICT機器は保護者にとって触ったら大変という感覚がある。 参観日や懇談会に多数の出席があった。 行事等にも協力してくれる保護者が多いと感じた。 極めて稀だが、ネグレクトなど虐待傾向にある家庭も見られる。家庭訪問等がなくなっている現在、学校側が実態を把握することが難しいのでは？
	保護者は、子どもにも温かく接しながら、けじめをもって育てている。	3.5	3	3.4	3.3	3.3		
	保護者は子どもと共に学び、成長している。	3.5	2.9	3.4	3.3	3.3		
経営基本環境	学校は、子どもたちの未来のために教育活動の改善を続け、挑戦する姿勢を大切にしている。児童・保護者からは高い評価が得られており、学校経営の方向性が共有されている。	3.5	3.1	3.4	3.3	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 経営基本理念は改善を続けるためには改善を続けるためには必要なので、方向性が共有されていると考えます。 校長先生のリーダーシップのもと、学校が一つにまとまっている。
	学校は子どもの成長のために挑戦し、環境や心を整えている。	3.2	3	3.5	3.2	3.2		
	学校は、子どもたちの未来のために教育活動の改善を続け、挑戦する姿勢を大切にしている。児童・保護者からは高い評価が得られており、学校経営の方向性が共有されている。一方で、教師はより高い水準を目指しており、自己評価は控えめである。今後も、教育環境の整備や新たな取り組みを進め、学校全体の成長につなげていく。	3.5	2.9	3.4	3.3	3.3		
身に付けた子どもたちの姿	子どもたちは、基礎的な学力を身に付け、定着している。	3.4	3	3.3	3.2	3.2	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 宿題等、課題がしっかりと出されており基礎学力の向上につながっている。 読書習慣を更に身に付けてほしい。 孫の宿題を見ているが、「じいさん、ちがうよ」とよく主張するので、頼もしいときもあります。基礎ができていると感じました。
	子どもたちは思いやりや感謝の心を育み、豊かな心を成長させている。	3.4	2.7	3.5	3.2	3.2		
	子どもたちは、健康や安全に気を付け、食や生活習慣を大切にしながら、元気に過ごしている。	3.7	2.9	3.4	3.3	3.3		
具体的な実践事項	学校は地域や保護者と協力して教育活動を充実させている。	3.5	2.9	3.4	3.3	3.3	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 地域を大事に保護者と協力する事が非常に目立ち充実してきたと思う。 学校の様子がブログやメール等でよくわかり丁寧さが伝わった。 地域の人に対して延小ブログで紹介で児童や学校の様子等もよくわかり便利です。マチコミも早く内容が分かりやすいです。 子どもたちの学力の不足足をさらに重点化し学校と一体となって取り組むと更によくなったのではないかと、登下校の様子を見ても子ども達が落ち着いている。 正門付近の環境が今一歩。 今後の活動に期待したい。 朝、通勤時に立ち番をしてくださっている人を沢山見かけます。ありがたいなあと思いながら通ります。暑い日も寒い日も本当に頭が下がります。 特支CO、エリアCO等、特支に関わる教職員が複数おられるが、役割が不明瞭。多くは管理職が窓口になっているように感じる。
	学校は、教育課程(ふるさと教育・キャリア教育・人権教育やICT活用等)を工夫、充実させている。	3.5	3.1	3.3	3.3	3.3		
	学校は全ての子どもたちの学力を伸ばしている。	3.6	2.9	3.4	3.3	3.3		
	学校は、子どもたちが楽しく安心している。	3.5	3	3.5	3.3	3.3		
	学校は、子どもたちの心身の健康を守っている。	3.6	3.2	3.5	3.4	3.4		
	学校は、一人ひとりの違いを尊重し、子どもたちが安心して学べる授業と支援を行っている。	3.5	3.3	3.5	3.4	3.4		
家庭での具体的な実践事項	家庭は、我が子にきまりを守らせるとともに、気持ちに寄り添い励ましている。	3.6	3.4	3.4	3.5	3.5	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 朝食を採らなかつたり、スマホ・タブレットを長時間使用したりする子どもが多いように感じている。学校コメントにある通り、保護者との対話や啓発の継続の重要性を感じます。 延小ブログなど、学校の様子を見る事が多く、関心が高くなりました。子どもが知らないときは見せてあげます。 マチコミも詳しく流れてくるので、周知も早いです。特に不審者情報が分かりやすいです。 ゲーム、スマホ、依存傾向が多く見られます。決まりを守るよう指導している。 スマートフォンでYouTubeを見ている児童が多いと感じる。以前はTVゲームであった。 家庭でできることは家庭で。学校に協力できることはなるべくと思ってやっていますが、まだまだです。 今年からマチコミで子ども食堂の情報を流していただき、それを閲覧して足を運ぶ保護者が増えた。児童が単独で来るケースもあり、地域交流の促進になっている。
	家庭は、我が子が友達や周囲を思いやり、生命や安全を大切にしている。	3.7	2.9	3.5	3.4	3.4		
	家庭は、学級・学年連絡などの配付物や学校の様子に関する取組で、学校の情報を積極的に把握している。	3.5	3.2	3.4	3.4	3.4		
	家庭は、宿題やアートの取り組みを確認したり、音読を開いたりして、子どもの努力を認め、励ましている。	3.5	2.8	3.5	3.3	3.3		
	家庭は、タブレット・ゲーム・スマートフォン等の使用について家庭でルールを定め、子どもの利用状況を把握している。	3.4	2.9	3.3	3.2	3.2		

【まとめ及び今後の方策】

本年度の学校評価では、保護者からの評価が全体的に高く、学校への信頼が確かなものとなっている。一方で、教職員の自己評価が控えめであることから、授業改善や校務効率化、特別支援体制の強化など、学校内部の改善に向けた課題意識が明確になった。今後の方策としては、①学力向上と主体的・対話的で深い学びの充実 ②特別支援体制の強化とチーム支援の充実 ③心の教育・生活習慣の改善の継続 ④家庭との連携強化と家庭教育支援の充実 ⑤地域との協働の深化 ⑥教職員の専門性向上と働きやすい職場づくりを重点に取り組み、子どもたちが安心して学び成長できる学校づくりを進めていく。